

### 三学期 始業式式辞

この冬休み、全員が大きな事件や事故もなく無事過ごせた事、再び皆さんの元気な姿を見る事ができた事を とても嬉しく思います。

さて令和5年が始まりました。  
人は新年、新学期に、今までの自分に区切りをつけて、振り返り、新たな夢や希望を持つ事をしてきました。  
皆さんはそれぞれの夢を確認し、目標を持った事でしょう。

その実現には多くの人との信頼関係  
や豊かな心の交流を築き、共に協力し、助け合う事が、とても大切です。  
そして、自分が困った時に助けてくれる人やいつも応援してくれる人の存在が必要です。  
人との協力や助け合いは他人が作ってくれるものではなく、皆さん一人ひとりの言動が作っていくものです。素直にごめんなさいと言える人、人のために頑張れる人、人の役に立つ人になることこそが自分の夢や目標を叶える一番の近道だ ということ覚えておいて下さい。

さて、新学期、1年生はわくわくオーケストラ教室、  
2年生は広島校外学習を成功させましょう。野球部は3月に静岡県で兵庫県代表として全国の強豪校との試合が待っています。  
3年生はいよいよ受験が始まります。いずれもそこに至るまでの過程を細部まで大切に、努力を継続し自信を持って臨んでほしいと思います。  
教育者、東井義雄さんは、「本物は続く。続けると本物になる。」と言っています。

この先生の「心のスイッチ」という詩を紹介します。  
人間の目はふしぎな目 見ようという心がなかつたら見えても 見えない  
人間の耳はふしぎな耳  
聞こうという心がなかつたら 聞いていても 聞こえない  
頭も そうだ はじめから よい頭 わるい頭の 区別があるのではないようだ  
「よし、やるぞ!」と 心のスイッチが入ると 頭も 素晴らしいはたらきを始める  
心のスイッチが 人間をつまらなくもし 素晴らしくも していく  
電灯のスイッチが 家の中を明るくし 暗くもするように..

今年はウサギ年、草原で天敵の多い中、ウサギはあの長い耳のおかげで生き延びたとされています。そう、素晴らしい「聞く力」を持っています。  
その「聞く力」には風の音の変化に気づく、繊細さが必要で、それが優しさ、丁寧さにもつながります。  
耳で体温も調節し、長い距離も走るウサギの力を学びたいものです。

皆さんにとって、心のスイッチを入れた 素晴らしい、ウサギ年、令和5年になる事を願っています。

令和五年一月十日

たつの市立宮中学校長 堀 富雄